



# かがやく子



福原小学校と福原中学校では、9年間を見据えた「かがやく子」の育成を図るため、連携した教育活動を行っています。この連携教育だより「かがやく子」では、どのような連携教育を行っているのかをお知らせしていきます。

## 協働授業の実施



中学校の先生

小学校の先生

協働授業とは、小学校と中学校の先生が、それぞれの役割をもち、協働で行う授業のことです。深い学びの場となるだけでなく、小学生が中学校の授業形態に触れ、中1ギャップをはじめとした中学校に対しての不安感を減らすことも、目的のひとつです。

これまでに算数（6年生・8月）・理科（4年生・10月）・図工（4年生・9月）・道徳（中1・9月）で協働授業を実施しました。今後も他教科での実施が予定されています。

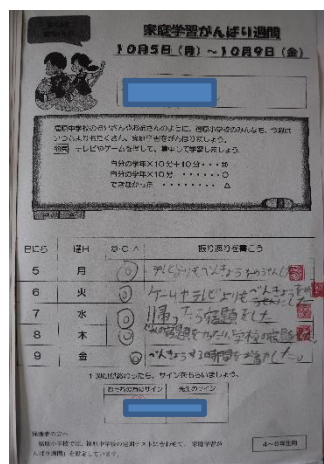
## 家庭学習がんばり週間の実施

中学校のテスト週間に合わせて、小学校では「家庭学習がんばり週間」を設けています。日頃から家庭学習には取り組んでいますが、特にこの期間には、

- ・学年×10分+10分
- ・テレビやゲームを消して、集中して取り組む

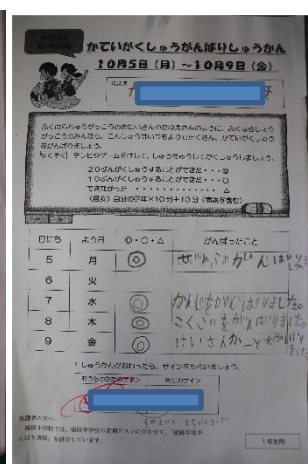
という目標のもと、保護者の方にも見守りをお願いしています。

小学生にとっては、定期テストやテスト週間は馴染みがないものですが、中学校に進学した際に学校生活に適応する一助となる取り組みになることを期待しています。



### <6年生>

振り返りシートには、意識をして、テレビやゲームより勉強を優先したことが記されていますね。さすがです。



### <1年生>

1年生にとっては、今回が初めての取り組みでした。漢字や計算カードなど、自分で考えて学習できました！

## 福原小学校のみなさんへ

中学生に「聞いてみたいこと」「教えてほしいこと」を大募集します。6年生の教室前にあるポストに、質問と自分の名前を書いた紙を入れてください。次回の「かがやく子」に中学生からの返事を掲載します。

